

おしえて！リそにゃ。



制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

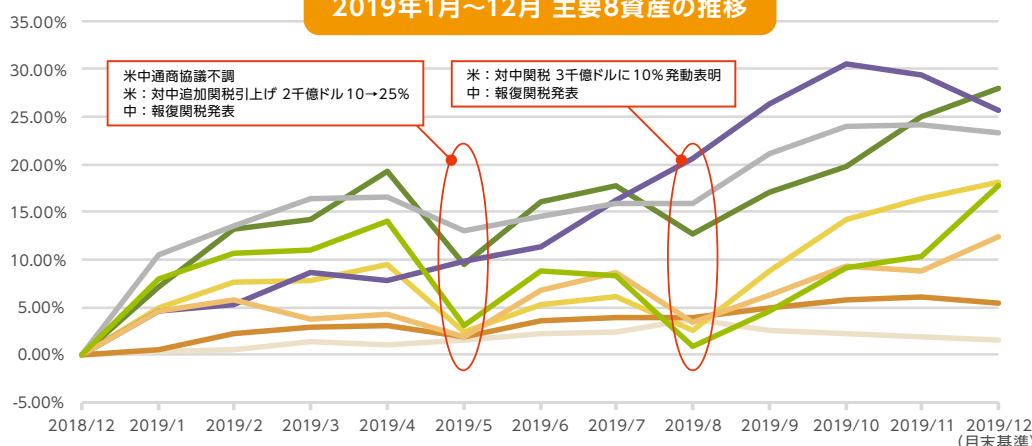
その他

2019年の各資産はどんな動きだった？

2019年は主要8資産すべてが上昇した1年間でした。中でも、リートと先進国株式は20%超の上昇率となりました。各資産の状況を振り返ってみましょう。



2019年1月～12月 主要8資産の推移



- 先進国株式
- J-REIT
- 外国REIT
- 日本株式
- 新興国株式
- 新興国債券
- 先進国債券
- 日本債券

各資産が上昇したことで、リそな銀行ご利用者の1年間の平均利回りも好調でした。

〈1年平均利回り〉

企業型	個人型
5.52%	3.16%

株式

米中交渉や金融政策への期待感から、株式は年初から上昇しました。途中、5月や8月には米中貿易摩擦の悪化から大きく下落する場面もありましたが、その後は主要各国の相次ぐ下落や米中通商交渉の進展期待の高まりから、年末にかけて、日本株式・先進国株式ともに上昇基調となり、株価の高値更新が続きました。投資家のリスク選好度も高まり、新興国市場にも資金が流入し、新興国株式も上昇しました。

債券

7月以降、新興国を含め多くの国が利下げを行ったことで、長期金利は低下の傾向となり、先進国および新興国の債券価格は上昇しました。日本債券は、長期金利が低水準で推移していることから、大きな値動きはありませんでした。

REIT (リート)

J-REITは、長期金利が低水準で推移する中、好調な不動産市況や相対的に高い利回りへの志向から大きく上昇しました。また、外国REITも、世界的に金融緩和が広がり長期金利が低下したことなどから上昇しました。

配分比率が崩れていませんか？

ー必要に応じてリバランスをー

各資産が大きく値動きしたことにより、ご自身の保有資産の配分が、目標とする資産配分と異なった比率になっているかもしれません。ご自身の資産の状況を確認し、リバランスを検討してみましょう。リバランスとは、資産を預け替える（スイッチングする）ことで本来計画した最適な資産配分に戻すことをいいます。

リバランスを行うことにより、元の資産配分比率を保ち、自分に合ったリスクを取りながら運用できる効果があります。

※ご自身のリスク許容度に応じた最適な資産配分は、シミュレーションの「投資モデル診断」でご確認いただけます。

リバランスのイメージ

目標とする配分



現在の配分



スイッチング
債券を10%購入



最適な配分に戻す



リバランス

確定拠出年金加入者サイトでは、皆さまの資産状況、運用商品状況のご確認、将来の受取金額シミュレーション、各種お手続きを行っていただけます。



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/>



ご自身の今の
資産状況を確認
してみよう！

パスワードをお忘れの方はこちらからお手続きできます。
お取引状況のお知らせ右上に記載の口座番号が必要です。

2020年2月発行

リそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

リそな銀行 確定拠出年金コールセンター

☎ 0120-401-987+「2#」

※海外からは国際フリーダイヤルをご利用ください。

リそな銀行 ホームページ

<https://www.resonabank.co.jp/>

本レターの無断引用・転載はお断りします。